

◎チェルノブイリ救援・中部では、戸別訪問による募金活動は一切しておりません。不審なカンパ要請には充分ご注意ください。

# ポレーシエ . . . チェルノブイリに思いをよせて

チェルノブイリ救援・中部 事務局から 1993.11.30 No.20

ミルクキャンペーンにご協力を！！

～粉ミルクの値段は以前の3000倍に～

ジトミルスキー・ヴィスニーク新聞社からのファックス (1993年10月18日)

We are glad that you are sending of powdered milk to Ukraine".  
your questions. Our industry earlier produced powdered milk very little. Now the prices for milk enlarged (from August 1991) in 3000 times. Today milk industry limits the production for children. This product is needed for Town Children

あなた達が“ウクライナに粉ミルクを贈ろう”という計画を実行しようとしていることに私達はとても喜んでます。———こちらの産業では以前からあまり粉ミルクを作っていませんでした。今では粉ミルクの値段は(1991年8月と比べて)3000倍にも膨らんでいます。今日、ミルク産業は子供用の粉ミルクの生産を制限しています。粉ミルクは州立小児病院、市立小児病院、すべての地域病院の産婦人科、そして母乳の出ない母親をもつ新生児にとって必要なものです。以前は自由に売られていましたが、今は医師の処方箋がないと売ってくれません。乳児の誰でもが粉ミルクを飲めるといふわけにいかないのです。医師の処方箋をもっていなければ誰にも売ってくれないのです。

ジトミル州の10の地域は、放射能で汚染されているために原乳をミルク工場にもっていきません。これらに加えて経済的な落ち込みも粉ミルクの生産に影響を与えています。

Sincerely yours,

V. キリチャンスキー

Y. ドンチェヴァ

V. Kirichansky

Y. Doshchava

## ミルクキャンペーン

申込方法：（１）粉ミルク１缶分２０００円（半分でも可）の寄付をお願いします。郵便振替用紙に「ミルク代」と明記のうえ、救援・中部までお送り下さい。年末締切り。

（２）皆様のメッセージをミルク缶に貼って送ります。愛知・岐阜・三重・長野・石川・静岡の各県３８カ所（別紙チラシ裏面参照）でメッセージシールをお受け取りになれます。近くにない時は、救援・中部事務局（最終ページ最下段）または下記の救援・浜松までご連絡下さい。シールをお送りします。

\*チェルノブイリ救援・浜松：

〒431-31 静岡県浜松市笠井町1299-2 高井信行方  
TEL.FAX:053-435-1419

## ミルクボランティアを募集しています

今回のミルクキャンペーンは浜松と静岡で担当しています。作業に人手が足りないため、お手伝い下さるボランティアの方を募集します。参加していただける方は上記チェルノブイリ救援・浜松（高井方）または救援・中部事務局までご連絡下さい。短時間でも構いません。

作業日：1月 7, 8, 9日（金、土、日曜）

// 14, 15, 16日（金、祝、日曜）

作業時間：午前10～午後4時まで

// 場所：「亀の家」 浜松市富塚町字茂左山590-1

\* 浜松駅ハスタミカより遠鉄バスにて館山寺行きに乗車、

「おかめ坂」バス停下車 歩道坂下ル

TEL.053-474-8719（当日のみ）

// 内容：ミルク缶や箱にメッセージシール（ロシア語使用説明書付き）と宛先を貼り、梱包していただきます。

12月16日（木）にもミルクカンパ呼び掛けを行います。ご参加下さい。

場所：浜松駅前フォルテ1Fホールにて 午前9時～

## ○日本では・・・輸入食品の放射能検査解除

93.01.12 朝日新聞朝刊

旧ソ連のチェルノブイリ原子力発電所の事故以来、輸入食品の放射能検査を続けてきた厚生省は十一日、一部の食品を除いて、検査を解除することを決めた。事故から七年ぶりで、今月十五日から実施される。

一九八六年以来、これまで旧ソ連や欧州などから輸入された十八種類の食品約七万三千件の検査を実施、厚生省が定めた食品一キロ当たり三七〇ベクレルの基準を上回る放射能が検出された五十四件について、積み戻しをした。最も高い値を示したのは八七年のスペインから輸入されたハーブの八七八〇ベクレルで、香辛料などに値の高いものが多かった。

しかし、九一年三月にミックススパイスから検出されて以降は基準を上回るものはなかったため、牛肉や食肉製品、脱脂粉乳、パスタ、まめ類、キャビア、ナッツ類などは検査を解除する。しかし、微量ながら依然として放射能が検出されることがある香辛料やハチミツなどは部分的に検査を継続する。

しかし・・・

### 特集 あなたの知らされていないこと

#### \*\*\*世界をさまよう汚染粉ミルク\*\*\*

\*リトアニア：旧ソ連国、バルカン三国の一つ

○アブダビ発（今年8月24日）

アラブ首長国（UAE）の火曜日（8月24日）に当局者が明かにしたところによると、リトアニア共和国からの粉ミルクが高い放射能で汚染されていることが分かり船からの陸揚げを認めないことを明かにした。

ドバイ市の公衆衛生部長ムザ・アーメド氏によると、この船は先週オランダからドバイに到着したものでアーメド氏は、「粉ミルクは1986年のチェルノブイリ原発事故の結果、放射能にひどく汚染されていることが我々の検査で分かった。このため国内の全ての粉ミルク取扱い業者にリトアニアからの輸入を完全にストップするよう命令した。」とAFPの電話に対して応えた。

また彼によると市当局はこの事実を食糧農業機構（FAO）に伝えるとともに他の湾岸諸国協力委員会の参加国に対しても同様の歩調を取るように話したという。（AFP 1993.8.24付記事より）

（次ページに続く）

## ○バングラデシュ発（今年9月16日）

バングラデシュの当局筋によると、高い放射能で汚染されたリトアニア共和国の粉ミルク約100トンを一ヶ月以内にオランダに積み戻すよう命令したという。

この命令は輸入業者からの申告に基づきチックゴンの税関担当者が、バングラデシュ原子エネルギー委員会に検査を委託したところ、放射能で粉ミルクがひどく汚染されていることが分かったことによるもの。

輸入業者の話では、この粉ミルクはリトアニアで取れたものがオランダで袋詰めされいくつかの国に輸出されたものだという。委員会の検査によると1キロ当たり497ベクレルもあり、バングラデシュでは許容レベルを1キロ95ベクレルまでのものとしている。また委員会ではこの汚染は1986年に起きたチェルノブイリ原発事故によるもので粉ミルクを体内に入れるとガンや遺伝的変異が起こるかもしれないと話している。

バングラデシュでは、オランダ、デンマーク、オーストラリアを含む数ヶ国から年に数百万トンの粉ミルクを輸入している。（AFP 1993.9.16付）

## きのこに残る放射能汚染（以下も今年の話です。）

「東ヨーロッパ、スウェーデン、北アメリカのチェルノブイリ後のきのこのセシウム汚染についての比較」

U B C（カナダ・プリティッシュェコロンビア大学、

応用環境微生物学の研究報告から 1993年1月）

東ヨーロッパおよび北アメリカ東部におけるきのこのセシウム（134および137）汚染についての比較が行われた。ウクライナから25、スウェーデンから6、北アメリカから10のサンプル（いずれも乾燥したもの）についての平均値は、1キロ当たりそれぞれ4,660ベクレル、9,750ベクレル、205ベクレルであった。さらにモスクワからとベラルーシ南部、ユーゴスラビアブルガリア地域について行ったところ、たとえ同じきのこの種類でさえすべての地域である高い値の中で変動していることが分かった。

また放射能の汚染は、腐生菌種や寄生種よりも菌根種について特に汚染がひどいことが観察された。そして運の悪いことにヨーロッパで食用の菌根種きのこが1000ベクレル以上と高く、食べるのは控えるべきなのである。他方アメリカのオンタリオやミシガン北部でセシウム137が1000ベクレルを超えたのは一つも無かった。（以下省略）（次ページに続く）

## きのこのゴールドラッシュ (アメリカ)

オレゴン州では、まるで西部劇ばりの早撃ちで取り尽くす勢いの「きのこ版ゴールドラッシュ」に拍車がかかっている。これはヨーロッパの一部でいまだにチェルノブイリ原発事故による放射能汚染が長引いている影響で天然きのこに対する需要が多いためである。沢山の人々がラグランデのブルーマウンテンの麓に集まりあみがさだけ、まつたけを探している。これらの季節の味は、ヨーロッパやアジアで1ポンド14ドルから20ドルの価値があり、きのこ狩りは1日で150ドルの稼ぎになるという。

(フィラデルフィア・インクワイアラー紙記事1993.7.14付けより)

## 汚染土砂流出の危険

### ○ウクライナ共和国キエフ発 (8月3日)

7月初めからウクライナを襲っている土砂降りの雨は、1986年のチェルノブイリ原発事故の放射能で汚れた土地に洪水をもたらす恐れがある、とウクライナの気象専門家は語った。複数の専門家によると、キエフ海(注:水源用ダム)に通ずる地域を(汚染から)遮断しているプリピャチ川の堤防が決壊して、放射能の堆積した土を、事故以来閉鎖されている原発周辺の汚染地域の外に流し出す恐れがある。キエフ市当局は、ダムの水門のゲートを開けてキエフ海の水位を1メートル(3フィート)下げ、洪水の危険を避けるように指示した。昨年には、同当局は干ばつで森林火災の危険が高まり、(放射能で汚染された)灰が非汚染地域に風で飛散しないかどうかを危惧したことがある。

(AFP)

### ○チェルノブイリの子供たち 治療のためキューバに到着

1986年のチェルノブイリ原発事故の後遺症に悩むウクライナの新たな一行が2ヶ月の治療のためにキューバに到着したと、「グランマ新聞」が木曜日伝えた。キューバ<sup>に</sup>行っている、いわゆる「チェルノブイリの子供たち」計画ではすでに1万3千人の子供たちが医療研究所で治療を受けたとプログラムディレクターのカルロス・ドトレスが述べている。また120人の白血病患者を助け、この内7人について骨髄移植が行われ、またいくつかの難しい心臓手術も行われたという。現在キューバで15の医療研究所がチェルノブイリの被災者を助けるために参加している。ウクライナからのほとんどの子供たちは、ハバナのすぐ南にある「タララ」という保養所に滞在する。

(タス 1993.11.12)

\*\*\*救援物資のまとめ(1990年4月~1993年9月)\*\*\*

前回皆様からの救援カンパの総額が「救援・中部」発足以来、1億円を突破したことをお伝えしました。物資まとめができましたのでお知らせします。

医療機器類	超音波診断装置	8台	輸液セット	千セット
	血液分析器	3台	留置針、静注針	6千本
	使い捨て注射器	29万4千本	カテーテル	1,112本
	顕微鏡	7台	食品用放射能測定機器	1セット
	全自動血圧計	1台	放射能測定器	14台
	輸液ポンプ	4台		
医療用品	手術用手袋	900着	手術用シート	445枚
	〃 着衣	1,086着	白衣など衣類	5,934着
医薬品	抗癌剤、抗生物質、ビタミン剤、脳代謝改善剤、 ホルモン剤、鎮痛剤、解熱剤、栄養剤、検査試薬 BCG、はしかワクチン(計4万人分)			
食品	粉ミルク、スキムミルク10.25トン 無農薬米など690Kg ビスケットキャンデー等448Kg			
移住基金	約200万円 医学書6冊(ロシア語、英語)			
その他	クリスマスカード等 8,735通 絵本 5,274通 文房具 102Kg カレンダー 25,690枚 おり鶴(おりがみ)など 4,000個			
物資援助額合計8,457万円(医師研修費、送料、運営費用等は含まず)				

\*\*\*救援・中部の本の紹介 「たった一回の原発事故で」

~ウクライナの母たちからの手紙~\*

「現地の人々の手紙集」が出版されました。どうぞ購読下さい。尚一般書店では売っておりません。1冊、515円です。注文の方は、代金に送料を51円を添えて下記地湧社まで。2冊目からは1冊につき10円を加算し、10冊以上は、送料サービス。50冊の場合1割引きで100冊以上は、2割引きとなります。

地湧社：郵便振替口座 東京2-36341

東京都千代田区神田東松下町十二番一号

(ミトモ第二ビル)



たった一回の原発事故で  
ウクライナの母たちからの手紙  
チエルフイ 救援 中部編

## 「石棺を閉じた男たち」講演会から

除染作業にあたった消防士 アントニークさんの話（抜粋）

・・・（事故時）消防員たちこそ、管理不能の原子力の衝撃を最初に受けていたことを皆さんはご存知だと思います。4号炉の燃えている原子炉の屋根の上にいる私たちの一部の仲間は、莫大な放射線を浴びて死亡したことをご存知だと思います。

ある人は、仕事を続けることができなくなって、身体障害者になりました。一部の方は難病に苦しんでいます。私も、この大規模な恐ろしい事故の処理作業に参加しました。ご存知だと思いますが、燃えている原子炉は上からヘリコプターにより、砂、粘土、鉛などによって覆われていました。全部で五千トン以上の色々のものが上から落とされて、その重量によって燃えている原子炉は7万2千立方メートルの重水がたまっていたバルバータという容器へ落ちる恐れが出てきました。取り返しのつかないことが起きるだろうという状態になりました。もしそうなれば大規模な爆発が起きて、半径数百キロメートルの周りの全ての生物は死滅しただろうし、土地や町が長年の間放射能汚染の砂漠に変わったかもしれません。だからすぐに原子炉の下にたまっていた重水をポンプで吸い出す必要がありました。

原子炉の下に消防ポンプが取り付けられました。直径150ミリのホースが、そのポンプ装置に取り付けられて、そして1.5キロメートルの距離でポンプ設備から安全なところへ貯水槽まで水が排水されました。この作業はとても汚染の強いレベルの地域で行われました。ある所では、放射線レベルが1時間あたり600レントゲンから800レントゲンまで達しました。そして、ポンプ設備が取り付けられた場所は、1時間あたり100レントゲンまででした。

クライナの多くの町から消防自動車が現地まで送られました。私も勤務先のジトーミル市から消防車に乗って現地まで行きました。まず私たちはホースとポンプの取り付け作業のリハーサルを行いました。それから、私を含めて5人は25分の間地下トンネルを通りバルバータという容器のところまで向いました。途中で非常に強い放射線のレベルをできるだけ避けました。

大規模な被害が起きないように私たちが危険を冒さなければならないということを理解しました。

ポンプ装置が取り付けられる場所まで着いたら、私たちはすばやくホースを取り付けて排水作業を始めました。・・・

（事務局注：途中ですが次回はオチユカーノフさんの話を紹介します。この講演録全文はまもなく印刷予定です。）

## 事務局維持会員入会のお願い

チェルノブイリ救援・中部では、膨大な事務作業をこなすために昨年3月に事務局を開設しました。長期の救援を行うために皆様の維持会員を募っています。救援活動を続けるため入会をお願いします。

◎維持会員入会費 10,000円/年 (または1000円/月)

郵便振替口座：名古屋8-108610

(\*通信欄に必ず維持会員申込みと記入して下さい)

### \* \* お知らせとお願い \* \*

- ・ 前回のポレーシェは、消防士の講演、医師研修、写真展などの報告のまとめのため発送が遅れました。お詫びします。
- ・ ウクライナ共和国の法律改正により、純粹に救援物資以外の物資については関税がかかることになりました。従いまして皆様から頂いた音響機器などについては現地への送付を取りやめることとなりました。どうぞご了承下さい。
- ・ ポレーシェを読んでもくださる皆様の住所やお名前の誤り、または重複して送られているなどがございましたらお手数ですがお知らせ下されれば幸いです。
- ・ 「たった一回の原発事故で」(救援・中部 編)が地湧社より発売となりました。ご希望の方は地湧社または救援・中部まで。一冊515円+送料51円
- ・ 救援金をお寄せいただいた方には全て事務局より領収書を送らせていただいております。振込用紙に住所氏名等を明記ください、もし領収書不要の方は振込用紙の通信欄にその旨お書きくだされば幸いです。
- ・ 被災地の家族や子供たちから届いた沢山の手紙や絵が「絵はがき集」になりました。1セット5枚で300円です。救援・中部まで直接お申込みください。
- ・ チェルノブイリ救援・中部のテレフォンカード 一枚1000円50度数。
- ・ 現地ジャーナリストのネチポレンコさんおよび小児科医師ライサさんの米日講演録全文。専門家の解説つき 一部350円。
- ・ 「とどけウクライナへ 私たちの救援日誌」(坂東弘美著 八月書館) 定価1648円 書店または救援・中部までご注文ください。

\*\*\*\*\*

チェルノブイリ救援・中部 (郵便振替口座 名古屋8-108610)

事務局 〒466 名古屋市昭和区楽園町137 1-10

TEL.FAX:052-836-1073 (月、水、金曜日10:00-15:00)

代表：長谷川三知子

(問い合わせはなるべく郵便で、できれば切手を添えた封筒を同封してください)